

授業科目 コンピュータシステム II

【担当教員名】 本間 久文		対象学年	2	対象学科	情報
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	4	時間数	60
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○		○	
【概要・一般目標：G10】 コンピュータを利用する際に必要になるソフトウェアについて学ぶ。オペレーティングシステムの構成と機能、ファイルシステム、セキュリティ技術などについて学習する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. コンピュータにおけるソフトウェアの役割について理解し、主なプログラム言語について特徴を説明できる。					
2. オペレーティングシステム（OS）の構成と機能について理解し、その特徴について説明できる。					
3. ファイルとデータベースの機能と役割について説明できる。					
4. ネットワークの利用、情報の保護について理解する。					
5. 関連する法制度とガイドラインについて理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ソフトウェア			1	
2	パソコンのソフトウェア			1	
3	プログラム			1	
4	プログラム言語			1	
5	言語処理プログラム			1	
6	プログラムとデータ構造			1	
7	ソフトウェア開発			1	
8	ソフトウェアの機能			1	
9	アルゴリズム			1	
10	流れ図			1	
11	ソフトウェアテスト			1	
12	OS の概要			2	
13	Windows の機能			2	
14	OS の構成			2	
15	タスク管理			2	
16	記憶管理			2	
17	ファイル管理			2, 3	
18	運用管理			2	
19	ファイルとデータベース			3	
20	データベースの設計と運用			3	
21	データベースの利用			3	
22	データベースの保守と制御			3	
23	ネットワークの概念			4	
24	LAN			4	
25	インターネットの利用			4	
26	情報保護対策			4	
27	マルチメディア			4	
28	個人情報と著作権			4, 5	
29	情報保護と信頼性			4, 5	
30	ネチケット			4, 5	
【使用図書】		<書名>		<著者名>	
		<発行所>		<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		図解コンピュータ概論改訂3版「ソフト ウェア・通信ネットワーク」		橋本洋志 他	オーム社 2010・2,500円＋税
		オペレーティングシステムの仕組み		河野健二	朝倉書店 2007・3,200円＋税
		ITText オペレーティングシステム		野口健一郎	オーム社 2009・2,800円＋税
その他の資料		プリント			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
・出席状況（10%）、試験（90%）によって評価する。		・配布されたプリントを中心に授業を展開する。また、各自で参考書を購入したり図書館の蔵書を利用するなどにより、内容の理解に努めることを望む。 ・適宜、確認テストを実施する予定なので、常に学習する努力を惜しまないこと。			